

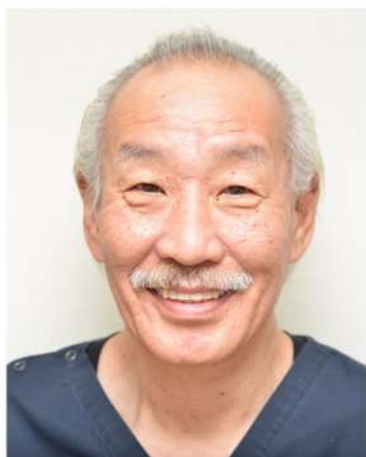
抄録集

2024
Dentium
Japan Forum
in Tokyo

2024.09.29(日)

Minimalism
with Dentium

座長



林 揚春 先生
Hayashi Yoshiharu

医療法人社団秀飛会 理事長
日本大学 客員教授
日本顎咬合学会 指導医
ICOI 指導医



金城 清一郎 先生
Kinjo Seiichiro

医療法人デンタル・クエスト
泊ヒルズ歯科 理事長 院長
AAP (International member)
AO (Active member)
OJ (Active member)
日本顎咬合学会 指導医

Minimalism
with Dentium



玉木 仁 先生
Tamaki Hitoshi

日本橋インプラントセンター 院長
日本口腔インプラント学会 専門医
埼玉インプラント研究会
日本橋講演会 主催

なぜティッシュレベルインプラントを使うのか？ ～ 基本的概念、および私の即時荷重のテクニックとその結果～

Why use Tissue Level Implant?

~Basic Concepts and My Immediate Loading Techniques and Results~

Nihonbashi Implant Center Dr. Hitoshi Tamaki DDS, Ph.D

当院ではティッシュレベルインプラントを主に使用している。前半ではティッシュレベルインプラントの基本的概念、使用する理由、インプラントが長期良好に経過する為の重要事項を解説する。

後半では、即時荷重治療について解説する。巷ではほとんどボーンレベルインプラントを使用した即時荷重治療が紹介されているが、当院ではティッシュレベルインプラントを使用した即時荷重治療を行なっている。その有用性と共に、即時荷重治療が成功裡に収められる為の重要事項、それに基づいて当院が行なっているテクニックを即時荷重治療の経過とともに提示する。



Jung Sungmin 先生

Dentium デンタルクリニック院長
Dentium 代表取締役
Genoss 代表取締役

Digital Minimalism (診断~補綴)

In the next?

Why dentist try to be minimalism?

1 drilling

Not depend on implant diameter. Drilling with lateral cutting bur, efficiently into cancellous bone with minimal violating cortical bone.

2 Implant selection

1) select an implant with higher strength in the neck and select Tight stability between fixture and abutment as well. Low screw loosening in BL(bone level) and TL(tissue level) or no loosening.

In BL, Deep connection can be used with non hex even in single molar. Also BL have much less sink down compared to 11 degree.

In TL, a 20 degree tapered connection is very tight sealing and stability For premolar, Non-hex abutment is recommended while single Molar in TL, recommend to use hex or wide abutment. With a narrow and strong fixture, The Fixture can be less exposed that means much less possibility of using a bone graft.

Digital abutment and Ti-base is characterized in Digital concept for model-less procedure. At first little bit hesitate with model-less concept, but after some cases, you will be familiar with model-less concept



山本 彰美 先生
Yamamoto Akiyoshi

大阪中之島デンタルクリニック 院長
日本歯科麻酔学会認定医・評議員
日本歯科放射能学会認定医
日本医学シミュレーション学会 セデーションコースインストラクター
明海大学歯学部歯科麻酔学分野 非常勤教員

骨量不足の顎骨におけるSuperlineインプラントの適応性

現在において、デンタルインプラント治療は、患者のQOLを高めるためにも、そしてその他の様々な観点からも、歯科治療に必要な術式である。しかし日本においては、諸外国に比べて、欠損補綴にインプラント治療が選択されるケースは、多いとはいえない。またそれに伴って、患者から選択される歯科医院(歯科医師)は限られた場合が多い。歯科インプラント治療は、一般の歯科治療に比べて、それほど頻繁に行われる治療ではなく、非日常的な治療術式であるため、一般臨床家からは、患者の要望があるにもかかわらず敬遠されがちである。

その理由は、患者の治療が終了するまでに期間がかかることや、生体への侵襲により生ずる患者の肉体的・精神的苦痛から起こる術者に対する不満への対応の苦悩、そして術者が安心して行える症例のみしかインプラント治療を行わないという風潮が見受けられる。特に上顎骨の骨量不足の場合、患者に対してインプラント治療は不可能と断言されてしまっているケースが多く見受けられる。

デンティウム・スーパーラインインプラントは、それらを含めた様々な問題に対して、大変有用で、術者・患者双方に恩恵を受けることができるインプラントであり、日本における少ないインプラント臨床に対するアンチテーゼとして、再考してみたいと思う。

Minimalism
with Dentium



町田 二郎 先生
Machida Jiroh

アトラスタワー歯科 副院長
ICOI Fellow
ADIA Fellow
即時荷重研究会 副会長

進化し続ける4SトリートメントコンセプトとDentium Super Lineの特性

チタン製インプラントが現状のようなスクリュータイプとなり、ラフサーフェスの主体がSLA(Sandblasting with large grit and acid etching)になって約25年以上が経とうとしている。

オッセオインテグレーションの率とスピードに関する研究開発は目覚ましいものがあり、ISQ(Implant stability quotient)の出現により、それは私たちが臨床実感するまでの改良が進んでいる。

しかしインプラント体の選択、埋入の術式、補綴完了までのプロトコルの主体はSLAサーフェスの出現以前の影響を色濃く残し、現代インプラント体の性能を十分に活かし切れていないのではないかと考える。インプラント体の性能と、インプラント治療プロトコルの選択は両輪のように密接に関係し、患者の身体的・精神的・経済的なメリットを改善させるために在るコンセプトの上を選択されるべきだと考えます。

今回、林揚春先生をモデレーターに迎え、進化し続ける4SコンセプトとDentiumインプラントの性能をご紹介します。今すぐそこにある患者のための明るいインプラント治療の未来を垣間見ることができれば、と思っております。

Minimalism
with Dentium



Byun Soohwan 先生

Hallym University メディカルセンター 歯科教授
元CHAメディカルセンター 臨床教授
元ソウル国立大学歯科病院口腔顔面外科 Fellow

DASK simple for simple sinus

This lecture will introduce a simplified approach to sinus augmentation for implant placement using the DASK Simple Kit by Dentium. Sinus augmentation is a well established and reliable technique, particularly in cases where vertical bone height is insufficient for implant placement. It has been a trusted procedure for many years due to its ability to create the necessary bone volume for successful, long-term implant outcomes.

The DASK Simple Kit is designed to enhance this process, offering clinicians a highly efficient and user-friendly option for both crestal and lateral approach sinus lifting procedures. Compared to traditional sinus kits, the DASK Simple Kit allows for excellent results with minimal complexity. A standout feature is the compaction drill, which facilitates not only bone condensation but also chip bone lifting, making it especially useful in cases with limited vertical bone height. Furthermore, the lateral drill enables the easy creation of lateral windows, providing improved accessibility to difficult posterior areas where conventional techniques might be challenging.

This presentation will highlight the versatility and effectiveness of these tools, demonstrating how they can streamline sinus augmentation procedures and improve overall implant success.



猪子 光晴 先生
Inoko Mitsuharu

いのご歯科医院 院長
日本歯科大学新潟生命歯学部
歯周病学講座非常勤講師
JIADS ペリオインプラントアドバンスコース講師
AAP会員
日本歯周病学会 指導医/認定医

失敗しないサイナスリフトそして サイナスリフトのリカバリー

上顎洞の問題で オールオン4 ザイゴマ とか ショートインプラントで行い将来的な予後を考慮しない傾向があります。

早期に咬めるというメリットがありますが、そのインプラントがロストした後のことを考えると不安と思う先生も多いと思います。

それは、サイナスリフトは難しいと思われることが原因で、難しくなく簡単にスピーディーに出来ると、もっと安心したインプラント治療が出来るはずです。

DASKのハンズオンセミナーを日本全国で行って来ましたがサイナスリフトが初めての先生も、DASKバーを使うDentium DASKハンズオンセミナーを受講することで、受講生からは「サイナスリフトが得意になった。」や「リカバリーも安心して出来る様になった。」、「安全で、短時間にできるようになった。」という声を聞くようになりました。DASKバーはピエゾサージェリーを越える治療が簡単に出来るようになりました。この度 DASKバーを用いた症例、そしてブタでのハンズオンセミナーに関して報告したいと思います。

Dentium Japan Forum *in Tokyo*